

「子ども若者相談窓口」の名称を変更する 考えは

利用者、相談員の意見を聞いて検討する



杉浦 文平
無所属クラブ

子ども、若者支援について

- 問** 子ども、若者支援の現状と課題は。
- 答** おおむね40歳未満を対象に、不登校、引きこもり、ニートなどの相談に応じている。他の機関と連携し、卒業や就業に結びついたケースがあった。真に支援が必要な方の把握が難しいこと、一つの部署だけでは支援できないケースへの対応が問題点。
- 問** 相談に来る方の年齢は。
- 答** 15～19歳が約半数。続いて40歳代が多い。
- 問** 40歳ぐらいの方には、「子ども若者相談窓口」という名称では抵抗がある。名称を変更する考えは。
- 答** 利用者、相談員の意見を聞いて検討する。
- 問** 相談員を教育関係者に限定せず、多方面の登用を図ってはどうか。
- 答** 学校からの引き継ぎで、教育関係者になっているが、相談のケースが変わってくれば、それにも対応できるように考えたい。

- 問** 秋田県藤里町では、戸別訪問や働き場所の提供に取り組み、成果を出している。どう思うか。
- 答** 孤立しがちな方にとって役割があることが効果的で、また、そのような方一人ひとりに働きかけることの必要性を感じた。
- 問** 分かりやすい窓口の案内、継続的な取り組み、40歳を超える方への支援体制、教育や福祉などの連携強化による支援体制が必要だと思うが。
- 答** ネットワークづくり、一体となった支援体制を整え、対応したい。



- 問** 子育て支援と教育環境整備について
- 答** 小中学校の給食費を無料化、または一部補助をしている市町村は。1740市町村のうち、約11%にあたる199市町村が実施している。
- 問** 田原市がやるべき優先順位は少子化対策と子育て支援。一般会計予算の1%で給食費は無料化にできる。家庭に置き換えると、20万円に対しての2千円となり、出費できると考えるが。
- 答** 家庭では考えられないことはないが、市全体では若干考え方の違いがある。
- 問** 学校環境衛生基準が改正され、教室の望ましい温度が17度以上28度以下となった。小中学校にエアコンの設置が必要ではないか。
- 答** まずはトイレの洋式化を進めたい。エアコン設置は、ランニングコストや国の補助金などの状況を見ながら進めていく。

学校環境衛生基準の改正に合わせるため、エアコン設置が必要では
国の補助金などの状況を見ながら進めて
いく



河邊 正男
日本共産党田原市議団